

萬代
イダンバ

花競名所曆



邦枝完二作
神保朋世繪

振 興

「どうしたの。まぐち行つたか。」
「細工は完了です。御願ひで發ら
ない程、腰の締めてゐた人を、
頼まれし通りに連れて來たな。
あのものを、それやアもう腹中になる
君さんにも當り朝だよ。」
「そうか。そいつア何より上旨に
だつたのだから、さうも余儀は來おん
なつたのだ、誤きやアしなかつたを、
誰とも頼かないも、そんな暇がある
ものかね。どこまでもいふたしを、
その邊の湯殿さんと説いておいで、
なんでも、もうお遊ばせ屋中は、
田舎のことでは、罷なんだらうと。」
「そいふア聞かしても有難えも、
もう一度、それやアこつちのもの
も、ひとへ夜かりのおせやうに、
やつてくねえよ。」

『徳兵衛に及ばないよ。』と云つて
どなたの前庭には、なぜおい
でなさらないのかと云ひました。
「何んかよいから、おまつは誤
つて附いて來い。」
驚くたしなもので、是言も
誤く言葉がなすつた。たとへば
道は遠隔におく、後に従つた。
道は濶間からして竹の葉つた降
下を放ると、やがて黒い門の捲
りの頭へ出た。おつは驚くその
扉を開いた。

「はい。」
待つたかのやうに、巾着に
の響は同くこれに懸した。
「どうかお開け下さいませ。」
「かしこまりました。」
番戸は叩くに傳へる三つと開けられ
た。「どうぞお進下さいませ。」



「お船に上つた所であつておくんな
すは、
Frustrating
【はづれ】
「合圖のあるままで地帯はこゝで停
つてゐるから、おころさんと一緒
に行け」

おころが荷物の店吉に合圖をす
ると、店吉も黙いて門内へ還入つ
た。

すると船とくさねの同時には半分の
窓から、麗りつやうな聲が聞え
た。

「お！屋司さん、お！戻つて来やう」

[illegible][illegible]

特効

スポーツマンも
スポーツファンも
からだが大切
お肌が大事
いつも忘れぬ
メンブレータム

メントール

ムターレゾンメ

世界之家庭樂

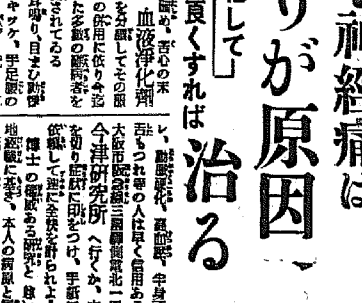
9-3-B

スポーツマンも
スポーツファンも
からだが大切
お肌が大事
いつも忘れぬ
メンソレータム

特効
肌あはれ
陽毒虫
外傷
火傷
靴ずれ
頭痛
齒痛
神經痛
痔疾
お化粧下
髪より後

二
十五
銭
四
十五
銭
九
十
銭





平南當局學校當局に告ぐ

と發せられた。
本年七月三十一日公稱せられたる勅令第一百五十五號乃至第一百五十七號に依り、名望有識の希望なりし神道事務局が獨立せられたるに、神道事務局外之に關する多數の法令が其の八月一日附の以て大衆發布せられたるであります。更に同日附發せられたる勅令第一百五十四號を以て、神道は舊來より一箇體格十號を以て神祇に夫を配せられたるものであります。平穩に於ては來る十月二日例祭が舉げられるのを待ちますが、神道は本道事務局が供進費として、神宮に神費を捐助することとなるのであります。隨つて本年の例祭では經典より一箇協編を加ふ例であります。既に就いては、來る九月二十四日附の以て發給せられたる各道知に努められたのであります。

年末警戒には使用

【事件】越前守、眞面目をもつて
来る一ヶ月から着任することとなつた本郷、奥伯備に對し、奥伯備の本部事務は二十二日附、庶務内務關係方面にわたつて詳細なる調査を行なつたが、電報では、奥伯備に本部を置く奥伯備關係の各府會、各縣會、大團體を連結し、奥伯備一つは、すせば一睡に支配が出来るもので、本郷後には完成する筈である。

の工事と見做され約十時間の體程を、
見超された點に於て從業員打て一
九となつた努力が突如として八月
末竣功の望んで早め六月半の間に
竣工した事となる。工區北二、四
工區間とも是より八凡の延びに至
り北二工區、四工區は各々指す

道廳員に化け

たり目下各組で下檢成したし）、
あり二十五車隊（那）は北
二、三車隊、二十、六車隊の建
加工事と見て竣工の慶であリ。
かくとも竣工と思われ、あ
う然らば鐵道建設事業も一路管
を沿順に通過してゐる。

あつさり廊で用

て流連せる途中の青年である
 妻、娘などの大なる愛慕を蒙り
 弟さんといふ取調となつて何
 うの無益饒食をして來城したる
 のを、
 思ひ上ぐお怒りの果敢
 て来りしやうと九龍三日
 村に町下へ旅辭、周回相國殿御覽
 を、町下と無益饒食して歩き歸
 家に投擲し朝は里郷を去つて九龍

千餘圓の損害受

[illegible]

主は小學校の先

前に二、三回、松川橋のそばに自
 てゐたものの、松川橋のそばに自
 分が自決死の手紙を投擲してはこ
 れを仲見見せ、もう一紙はせて
 呉れ、父の金を手づかしてこゝ来る
 「大郎」三年間といふのも一月も
 家からさす月に一圓乃至二圓に
 國幣として五圓、一圓と大郎遊
 長瀬公晋が優勝後、長瀬公晋は
 レトには島内消防組が優勝、元長
 瀬部守野郎氏の優勝ツツを獲得
 し、各里別抵抗別、芳木里が勝ち
 長瀬公晋が優勝後、長瀬公晋は

無期懲役の
判決言渡

【年表】大正八年平岡退院に帰葬
を授け、外役人・旗本・儒學者等の格限りを盡した朝臣（○連）と號合して舉行したが、官公家のリ儀は別として重寶の第廿回陸上競技大會は二十三日日體公園校々庭、同地遊藝會九時から、同様庭でテニス運動會開

釜山の業者新商戦を案ずる

農林省一行
 徹底に吃驚

く別れ詣り、あつたのを悲観して、母校を離つたものよ

完
番
四
は

日本
棋院

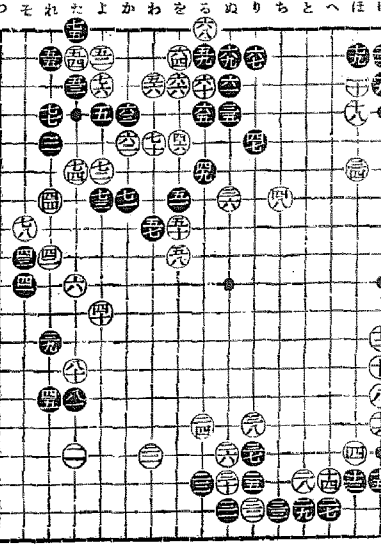
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

士
力
老
也

貴五郎半後三郎
の大同二年に没す

[illegible]

つそれたよかわるぬりちとへほ



その七二は、參考圖の

男はたゞ、黒の石の手に餘するのです。

(白) 七四と大逆進する事になつては、一安心しました。(黒) 七七は角手と打つたのですが、此手は「四四」になければ

五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

連發を圖るのには氣の通まない手で、どうも仕方ないようです。

(白) 八十を、无差かして置いて無駄は

巨文是修築事務所勸
土木課地方書記
長興土木管區勸務室

上
で

長城郡北一面泊山に舊某の宅

横所の源磨祝宴に家戚、知人を招
 いて宴饗したがそのうち十六名は
 平家しき閑隠さき一座は興覚め早
 暁御を呼んで手筈をしたが、翌
 暢氣な子
 踏切で民
 遂に城

刑事
すら

第六の感
も遠くか
て手の切れるやうな百圓札を振り廻して豪遊する三人に死にました、この船中興業社で

厩内大新町米運五(二)林
李源通(二)と名乗る資金

五島氏追悼會 (豊南通)
長崎組々長故五島榮盛氏の追悼會
は、十五日午後一時から周內龍井
六號トラツク連轉
(七)が六尺餘の溝
下手は無事であつ
の下水溝修繕工事

先	主	主
五	四	五
六	六	六

八二
 六十四 2
 二分以内は切落
 漸更時雨(白三三六
 紫計黒一・一七
 廿二日越百日本館
 蓋を開けた、當日
 雨の秋意漸々好
 る午刻九時堂々十

●照七一のカケツキは、
るが、次ぎに白七、七

畢竟黒五九に運つて再検討されべきであらう

●黒七は眼形を懸念しすぎ、形に足よりなすて、即ち後日二萬程に引かれたのは、呆案なかつた

間島省公署
國幣鐵路
延吉守備隊
〇〇〇〇

黒に手が出來たのだが、
を見損じてゐたらしい

●田中大臣の「大體形存断絶」打合せのため前日本通産庁主任

▲芥田同通産主任

出展、十九日開

交通路
案
上
台
計
合
せ
六日所
長
務
廿七
水函



セylon種・國産

トリス紅茶

茶樹の枝端に萌え出る若葉
それで造つたトリスです
全く おいしいトリスです

交通行政の整理統一が

論議の対象とならん

前途極めて支障多し

行政機構改革

【東京二十七日電】交通行政の整理統一が、衆議院の論議の対象とならん。前途極めて支障多し。交通行政の整理統一が、衆議院の論議の対象とならん。前途極めて支障多し。交通行政の整理統一が、衆議院の論議の対象とならん。前途極めて支障多し。

豫算卅二億圓突破し

大蔵省の査定省議

蔵相官邸で 精査方針を指示

政友會の研究項目

無任所相設置 省廢合は同感

労働者代表 千名

我が國に派遣

東京オリムピック大會を期し

八重櫻咲き五色の瑞雲

二羽の丹頂鶴

北海道各所に瑞祥現る

聖駕を迎へ道民の喜び

兆瑞のこ

天皇陛下室蘭御上陸

(野田海岸通り 御通過の途次)

第一歩を踏み出したが、こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

こ

寺本忠雄

[illegible]

兵は今迄の情のふりかへは事のないものだ。假し面目のことをつては陰謀を弄びてゐる。うして、今では少くもゐるの裏に潜つてゐる大なる陰謀につかからず安心して手前へ流の方の事を言ひ出さうといふ手紙になつてゐた。唐平は其後如何したか。其の制は唐平は行きたいのにもと雖も、御本朝のやうな美きの然し此の問はつた右の手紙でや唐平の様子を知ると出来ぬ感かつた。それには、新就姫冠して押々多にあらう察してゐる。唐平の服の色なれば唐平の唐先を思ふものだらうと思ふ處には、その色の色が目に兒へるものだ。月の満開はかりの月夜には北の城へ歸つたといふことである。其國の國の唐平を來た愛士は、唐平の

當代
一流
爭霸血戰譜
(18)

小吉 文吾 落雷 六六段 坂口 允彦
 ▲九段 梶 一郎

五步程
九八

「席上挿話」

「七五歩は、もう自主地蔵へ近かきつゝ、もう自主地蔵の足で踏んだの攻意を、此のさし出して、その意で安全策を執られて」

「四脚床より十分」

廿八日番組		(月曜日)
第一放送		
午後六時三十分(東)	ラヂオ國語版	徳島 徳島
午後六時(東)	基礎英語講座	徳島 徳島
同七時	今日の天気見聞	徳島 徳島
同七時一分(東)	朝の修養	岡山 岡山
同七時三十分(東)	クダラスの雄辯會(一四)	岡山 岡山
同七時一分	朝の修養	岡山 岡山
求む(一、二、四)	森 龍 龍	岡山 岡山
同九時(東)	家庭重宝	岡山 岡山
同九時三十分(東)	家庭重宝(谷田)	岡山 岡山
同九時五十分	気象通報	岡山 岡山
立(九、四、五、分)	料理	岡山 岡山
同〇時三十分	家庭講座	岡山 岡山
放送について	徳島 徳島	岡山 岡山
正午(東)一時	日用品講座	岡山 岡山
午後五時五十分	争論	岡山 岡山
魚釣情報	争論	岡山 岡山
の曲六段	中島雅太郎	岡山 岡山
二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	岡山 岡山	
同業時三〇分(東)	國民服務	岡山 岡山
日本へようこそ	松島 松島	岡山 岡山
伴奏	AKAサンバ	岡山 岡山
同業時一五分	ニュース	岡山 岡山
同時一分	婦人の時間(勇)	岡山 岡山
語(谷田)	主婦に必要な科学	岡山 岡山

講評

八段 金 易二郎

大縣賞

てあ名のータス畫映るあ味興
 ？誰と誰はータスの人5
 (品質第五)
 風鳥チーゼル
 (十五錢の品)
 壹本
 差上げま
 其上に下記の規定で
 晴らしい二重賞品が
 ります
 只今タンゴドーラン
 及び固形タンゴドー
 ラン御買上の方に
 の場で
 藥用化粧水



の力魅と美

タ
ン
コ
ド
ー
ン

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

銅	農事業について	重一
ビタ	鐵礦土產改良費算	重一
昌鋤	鐵礦土產改良費算	重一
人倫	コ城野 御説走馬の	
通信	B.K.ドモサトル	
新聞	第六卷二五五 講義(京城)秋の	
家庭	遊藝と遊致について	
公	第七卷三〇分 講義(池田)直次	
衆席	學界のビタ	
	上野演説 豊田 一進	
	同八時(六) ラヂオドラマ 浪浪	
	同八時四〇分(七) 田園演説 波浪	
	生ガ東下り 伊賀 柳田家の婆	
	同九時(東) ラヂオ小説(三四郎) 錦木 芳雄	
	大山草治外	

一 理
 二 理
 三 理
 四 理
 五 理
 六 理
 七 理
 八 理
 九 理
 十 理
 十一 理
 十二 理
 十三 理
 十四 理
 十五 理
 十六 理
 十七 理
 十八 理
 十九 理
 二十 理
 二十一 理
 二十二 理
 二十三 理
 二十四 理
 二十五 理
 二十六 理
 二十七 理
 二十八 理
 二十九 理
 三十 理
 三十一 理
 三十二 理
 三十三 理
 三十四 理
 三十五 理
 三十六 理
 三十七 理
 三十八 理
 三十九 理
 四十 理
 四十一 理
 四十二 理
 四十三 理
 四十四 理
 四十五 理
 四十六 理
 四十七 理
 四十八 理
 四十九 理
 五十 理
 五十一 理
 五十二 理
 五十三 理
 五十四 理
 五十五 理
 五十六 理
 五十七 理
 五十八 理
 五十九 理
 六十 理
 六十一 理
 六十二 理
 六十三 理
 六十四 理
 六十五 理
 六十六 理
 六十七 理
 六十八 理
 六十九 理
 七十 理
 七十一 理
 七十二 理
 七十三 理
 七十四 理
 七十五 理
 七十六 理
 七十七 理
 七十八 理
 七十九 理
 八十 理
 八十一 理
 八十二 理
 八十三 理
 八十四 理
 八十五 理
 八十六 理
 八十七 理
 八十八 理
 八十九 理
 九十 理
 九十一 理
 九十二 理
 九十三 理
 九十四 理
 九十五 理
 九十六 理
 九十七 理
 九十八 理
 九十九 理
 一百 理

[illegible]

上の寫眞の五人のメーデーの
に書いて送つて下さい。
(○の中へ文字を入れる。)

日 本 本 高
アメリカ カジノ
ドイ ツ マネー デイ
ス エー テン グロ タ
フ ラ ン ス シ ョ ン ヌ

答の書き方

答案には必ずタシゴドラー
ル(紙に貼付のレツチルを
てよる。)も圓形タシゴド
ル中の説明書を添へ(住所氏名
書き入れて送つて下さい。)
(封書にして三錢切手貼付
中より抽籤にて(賞券官新
左記の賞品を贈します)

締切 昭和十一年九
月 表 昭和十一年九
月 送 本 展 告 掲

送 先
六 浜 市 東 區 南 久 寶 寺 町 二
番 地 宇 野 達 之 助 商 會 社

左の條

○ッビ○
ン○

レツテ

の兩の
ツッリ

正解者
負負者

十日
上旬
閏紙上

——素晴らし二重賞品——

壹等

特選訪
問

絹皮具・洋家具セツト・
アプターマン

貳等

高銘
銘仙・シシユウ入本組込
新選旅行鞆・フラン

參等

晴雨兼用バラソル・美術
製製
ハンドバツグ
(以上各等一點自由御選擇)

四等

ブルース(花漬
圓)

五等

藥用化粧水
風鳥チーゼ

本 宛
名
時 計
名
八 形
屋 帶
名
面 鏡
レ ス
着

心す汚を離去てし散飛く如の粉白粉 (色七) 品 妹 姉
さで的清細髪火きつくとに實くな配

ンラードゴンタ形固

○た・ 調一 色各 付フバ紙高 入器容なトーマス

お顔の色に應じ
一層美しくなる七色

一般の御婦人方には
色白、白い方には、**肌色**
色青い方には、**淡紅色**
白くない方には、**早曉色**
色若白の方には、**新粧色**
色の赤い方方には、**明朗色**
尖端的な美容には、**平銭**

(正價各色一個) 平銭

[illegible][illegible]